

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－102）、MOX燃料加工施設（1－93）」

2. 日時：令和4年1月21日（金） 13時30分～15時05分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官

日本原燃株式会社 大柿 常務執行役員 他11名

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料サイクルグループ 副長

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html

- ・ 令和4年1月14日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、録音開始しました。
0:00:05	規制庁の竹田です。
0:00:07	それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:11	本日のヒアリングは、令和2年12月に申請があった設工認申請につきまして、これまでに提出をされている資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:22	規制庁側の出席者ですが本庁側からはは先。
0:00:27	2部からの参加が、
0:00:29	ツガネ。
0:00:30	カミデ。
0:00:32	タケダ。
0:00:33	以上になります。
0:00:35	それでは日本原燃の方から、出席者の紹介と、本日のヒアリングでの議題の構成、説明範囲、達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:49	はい。こちら日本原燃六ヶ所ナカハマでは、
0:00:53	日本原燃側の3ヶ所をご紹介します。
0:00:57	まず、事務局としまして、
0:01:00	オオガキ、
0:01:01	フナコシ、
0:01:02	ムラノナガサワ。
0:01:05	赤橋、
0:01:07	フジノ、
0:01:08	タニグチナカハマ。
0:01:10	説明者といたしまして、トガシ。
0:01:14	ウラバヤシ。
0:01:15	イノウエ。
0:01:17	キョウダとなっております。
0:01:19	本日につきましては、耐震建物関係の補足説明資料、
0:01:25	050607の三つの資料についてご説明させていただきたいと思います。
0:01:33	それではよろしければ、耐震建物05番からご説明させていただきたいと思います。
0:01:41	規制庁の竹田です。ありがとうございます。それでは、補足説明資料の方は事前に準備しておりますので、資料、順番。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:53	最初は 05 からですかね。
0:01:55	この資料の方から、ポイントになる部分。
0:01:59	ところです。
0:02:00	等の説明をお願いいたします。
0:02:05	日本原燃キョウダでございます。
0:02:07	この資料につきまして修正箇所としましては、今回ヒアリングでいただきましたコメントを踏まえまして、図表等の制裁の修正ですとか最後の参考資料の記載程度の修正を行っております。
0:02:19	また、その他資料との統一を図ることを目的としまして、概要部分等の掲載の修正についても行っております。以上よろしくをお願いいたします。
0:02:31	規制庁の竹田です。ありがとうございます。
0:02:34	それではこの資料につきまして規制庁側から確認事項等ございましたらお願いいたします。
0:02:41	はい、原子力規制庁ハバサキです私の方からまず
0:02:46	資料 2、今回の 05 の資料については確認したんですけども、昨年 11 月の会合で、原燃の方から説明がありました。
0:02:58	入力動のパラスタなパラスタといいますか検証の話ですね。資料としては、この資料の中に盛り込むんじゃなくて他の資料に盛り込むんでしょうか。
0:03:10	その辺りについて説明してください。
0:03:15	はい、峰土橋でございます先ほど、今ほど濱崎さんがご指摘ありました非線形の資料に関しましては地盤関係の補足、補足説明資料の方に今入れるような形の方で今週ですかね資料の方を提示させていただいてございます。以上でございます。
0:03:33	規制庁浜崎です。
0:03:35	地盤関係の方でということでは理解したんですけども、発端はどちらかというと側面までの資料の方だったんで、何かこう、紐付けのような形でそちらへの主リンクを貼るようなことっていうのは可能でしょうか。
0:03:53	日本原燃キョウダでございます。こちら全体の 59 ページになるんですが、
0:04:01	参考資料の概要、1 ポツ概要の最後のところにですね、入力地震動の等価線形解析による算定の出す補正については耐震建物 08 の資料の方で、別途示すこととするというふうな、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:15	記載を入れさしていただいております。以上でございます。
0:04:19	規制庁浜崎です。
0:04:21	文章としてはここに入ってるということで了解しました。内容としては、こちらで取るということでいかない。はい。
0:04:33	わかりました。今ここに記載されてるということで、了解しました。
0:04:38	私から以上になります。
0:04:45	はい。規制庁の武田です。曾我規制庁側からこの資料について確認ございましたらお願いいたします。
0:04:54	規制庁上出です。変更のあった部分で、
0:05:00	少しだけ確認ですけど。
0:05:03	2週は変更というわけじゃないかもしれないですけど、まず29ページの、
0:05:10	5.2、解析条件の三つ目のポツの部分が、
0:05:17	ちょっとよくわからなくて特によくわからないのか。
0:05:21	一番下の四角囲いの労働部分の取り扱いの違いってなってる場所なんですけど。
0:05:29	これって、
0:05:31	この記載のところにもう少し説明いただけますか。
0:05:37	4連キョウダでございます。どうどう部分の取り扱いの違いというところなんですけど、まず接触率の算定の部分につきましては、どうどう部分というのは、その施設接触率の方に見込まず、
0:05:51	保守的な接触率の算定をさせていただきます。
0:05:55	一方でその接触率、
0:05:57	の算定の後から、実際に側面ばねをどのように評価しようかというところで、周辺地盤との接触状況の実情を考慮した評価といったところでは、
0:06:10	その詳細評価の中では、労働部分の取り扱いにつきましては、労働を見込んだ。
0:06:16	労働を地盤として見込んだF E Mモデルで評価しておりますので、その部分に少しそごがあるといったところで、この影響評価については別途実施するといった部分が、
0:06:27	記載をさしていただいております。
0:06:32	はい、規制庁カミデです。
0:06:34	そうすると、どうどう部分の取り扱いの違いによる影響検討というのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:44	接触率判定のときと、
0:06:47	側面ばね、
0:06:50	として算定するとき、
0:06:52	労働の扱いが違うよっていうことをまず、取り扱いの違いとして表現して るっていうことですかね。
0:07:01	日本原燃キョウダでございます。その通りでございます。
0:07:06	はい、規制庁カミデです。
0:07:08	そうなると、
0:07:11	この四角が多いで、革新性開示にということで遠くにしてますけど、燃 料かフォー建屋も、
0:07:20	道道がついているんですけど、燃料加工建屋はどうなって、
0:07:25	あそこ。
0:07:27	遠慮た函館につきましては、
0:07:31	この周辺地盤との接触状況の実情を考慮した評価ではなく、もともとバ ックばねで評価しておりますので、この記載しているところとは違う評 価をしておりますので、
0:07:45	燃料加工建屋については該当しないといったようなところでございま す。
0:07:50	以上になります。
0:07:55	規制庁カミデです。最初に、接触のは成長率の判定のところの話があっ てそこでは見込みます。
0:08:05	そのあと地盤ばねのところでは、見込みます。
0:08:10	燃料加工建屋は、そもそも関係がないってところが、
0:08:16	いまいちよくわからない。まず、接触率の判定について燃料加工建屋は どうか。
0:08:27	日本原燃キョウダでございます。この全体の 12 ページ。
0:08:31	をご覧くださいればと思うんですが、
0:08:35	こちらに評価フローの方を載せておまして、
0:08:41	まず接触率を用いまして、バックの手法か、境界要素法有限要素法か、 最後の周辺地盤との接触状況の実情を考慮した評価という、
0:08:53	分岐に分かれるんですが、
0:08:56	その中の周辺地盤との接触状況の実情を考慮した評価に、
0:09:02	該当する建屋については、アセット影響評価を実施しますよというこ とで記載しております

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:08	Aの燃料加工建屋につきましては、この文献の中の学的手法に該当します ので、また別の話といったようなところでございます。以上でございます。
0:09:21	日本原燃鳥羽でございます。ちょっと補足させていただきますけども燃 料加工建屋に関しまして今キョウダの言っているところでございますと 34 ページ目の方が、基本的に燃料加工建屋に対しての周辺地盤との接触状 況という位置付けになってます。
0:09:36	こちらの方を見ていただきますと、燃料加工建屋に関しましては、労働 部分といった部分を地盤として、
0:09:44	見ない場合に関しての接触率を見たときにも周辺地盤と、設置してる面 積っていったところが、99.2%という形になっております。
0:09:54	こちらの方では労働部分を見込んで0%という形になってございま していずれの手法におきましてものバックのこの適応の範囲内ござい ます三面接触及び75%の接触といったところを満たしてございますの で、
0:10:08	燃料加工建屋の側面ばねの算定といたしましてのワークの手法に基づい て実施しているというところでございます。
0:10:16	ちょっと補足でございました。
0:10:21	はい、規制庁カミデです。
0:10:23	そうすると、
0:10:27	29 ページのところでは四角囲みしていた部分。
0:10:31	ワーナー。
0:10:33	先ほど説明があった、12 ページのところでは、
0:10:38	二つ目のダイヤ、偏重費のところでは、それと火災、時間的なについて強 化要素法とか有限要素法に、
0:10:48	いったもの話ってということですか。
0:10:54	日本原燃キョウダでございます。一つ目のダイヤの建屋側面との地盤状 況との接触状況が三名は75%接触を満たさない。一番。
0:11:05	右側の手法、周辺地盤との接触状況の実情を考慮した評価に該当する建 屋でございます。
0:11:13	規制庁神です。わかりました。一つ目のダイヤで、
0:11:16	行ったものです。
0:11:18	ここについては、どうどう、ここまでいくと
0:11:24	労働は接触してるとしてみますと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:30	その時に、
0:11:32	二つ目のダイヤで除かれたものっていうのはこれ労働の取り扱いは、
0:11:38	どっちなんですか。
0:11:40	日本原燃キョウダでございます。二つ目のダイヤの時点で、もうすでに全面接触としてみなしていいというような条件になりますので、すべて全面接触 100%として、検討を実施しております。以上でございます。
0:12:00	はい、規制庁カミデです。
0:12:03	それで、二つ目のダイヤでYESに、
0:12:07	玉野もおんなじ考えで、
0:12:11	のバックのところでも接触してるとみなすっていうことですね。
0:12:17	表現の影響でございます。その通りでございます。
0:12:23	はい、規制庁カミデ何となく言われてることはわかって。
0:12:27	要は三名というか、75%以上接触してるものは、
0:12:36	その道道の部分は、接触して富田島
0:12:40	3名は75%に満たないものは、
0:12:46	違うな。
0:12:49	どちらにしても接触。
0:12:53	みなしてるってことですね、どこまでいっても接種、接触率のところは堂々は、
0:12:59	くっついてないって見るけど、
0:13:02	要はそれ以降は全部くっついてます。
0:13:05	ということですね。
0:13:10	日本原燃、キョウダでございます。さようでございます。
0:13:14	その接触率の判定につきましてはすべてドウドウは見込んだもので、労働は削除したもので計算しているといったようなことでございます。以上でございます。
0:13:26	はい。規制庁上出です。それで29ページに、
0:13:30	戻りますけど、
0:13:33	接触率のところとバネのところ扱いが違うっていうのは、どの建屋、どのフローを通っても同じであるにもかかわらず、
0:13:44	影響検討するのか、前処理建屋と違って限定されてるところがその理由がよくわからない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:55	日本原燃キョウダでございます。この周辺地盤との接触状況の実情を考慮した評価というのが、この前処理建屋と分離建屋と制御建屋と分析建屋、これですべての建屋といった、
0:14:08	ところでございますすべてこの手法を選択するものは、影響検討を実施しますと。
0:14:13	ということでございます。以上でございます。
0:14:17	規制庁カミデズなかなかちょっと、
0:14:20	話が通じてないのかもしれないんですけど。
0:14:23	銅像部分の取り扱いの違いっていうのは、接触率判定のところまでのところで、違うんですっていうことを表現し、最初に確認したと思うんです。
0:14:34	それはその認識は合ってますよね。
0:14:38	日本原燃姜でございます対応でございます。
0:14:43	と規制庁カミデです。
0:14:45	それ、それをやっているのは燃料加工建屋もそうだし、
0:14:49	この前処理とかそれ以外の建屋も同じように取り扱いの違いはあるんですよね。
0:14:56	日本原燃キョウダでございます。まず、この29ページの、すいません。六本木です。ちょっと今のイエスカノーで答えられるように、
0:15:08	聞いたつもりなので、ちょっと。
0:15:10	まずはっきり考える、明確にしたいのでイエスカノーで答えてもらえますか。
0:15:49	規制庁深見です。すみません日本海が聞こえてますか。すいません。日本原燃ウラバヤシでございます。すみませんちょっとやりとり複雑になってしまったんですけども。
0:15:59	ちょっとイエスカノーじゃなくてまず同等性ちょカミデですちょっと。
0:16:04	説明がよく理解できなかったなので、取り扱いの違いっていうのはいろいろ、
0:16:12	いろんな建屋で共通してあるものだと思ってるんですけどそこが私の認識が違うのか、どうかっていうところをまずたいと思います。
0:16:22	はい。すいませんお手数ですがまず最初のご質問sので答えるご質問もう一度お願いできませんでしょうか。
0:16:32	規制庁カミデです。
0:16:34	29ページに書いてある労働部分の取り扱いの違いっていうことは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:41	この取り扱いの違いをしている建屋っていうのはすべての建屋だと思ってるんですけどそれは違いますか。
0:16:49	それについてはイエスになると思います。
0:16:53	堂々の部分を判定するかどうかというのは、まずイエスだと考えております。
0:17:00	違う。わかりました。
0:17:03	すべての建屋についてどうどう部分の取り扱いの違いはある。
0:17:07	その上で影響検討するもん、建屋を限定している理由は何ですかっていうのが、次の質問です。
0:17:21	その上でまず道道があるということは周りの地盤に含めて堂々という存在も含めて、実態を模擬して、一番までを出している。
0:17:32	そういったやり方で側面ばねを算定している建屋が、今この四角囲みで記載されている部分でございます。
0:17:40	それ以外のもので、周り全部土地で、戻されてるよっていう見直したものがそれ以外のものというふうに分かれてございます。そういった意味で前者の方の検討を行うというふうに記載させていただいてるものです。
0:17:58	規制庁、赤木です。それでもよくわからないのもうちょっと違った聞き方をしますけど燃料加工建屋と前処理建屋、同じように、
0:18:09	労働を労働に接している建屋なんですけど、
0:18:14	この二つの違い、なぜ、一緒には、影響検討が必要で燃料加工建屋が、キョウケンとか、不要なのか。
0:18:25	そこを教えてくださいませんか。
0:18:34	日本原燃キョウダでございます。
0:18:37	まず 29 ページに記載しております。この 29 ページのというのが、別紙 1 の、建屋側面地盤までにおける評価手法の概要といったところで記載さしておりますさせていただきます。
0:18:50	その中に、のバックの手法と境界要素放流元要素法、周辺地盤との接触状況の実業町を考慮した評価ということで、それぞれの
0:19:03	全体の 12 ページの評価フローと対応する手法の説明をそれぞれ記載させていただきます。
0:19:13	で、
0:19:14	その中でのフィックの手法は、まず、全面埋め込みとして評価してもいいというような評価ですので、全面埋め込みとして評価する。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:25	評価であると、3ポツの境界要素4ポツの有限要素法についても、全面埋め込みとして評価していいという評価法なので、全面埋め込みとして評価している。
0:19:36	5ポツ目の周辺地盤との接触状況の実情を考慮した評価という手法を選択した。建屋につきましては、
0:19:46	評価手法上、少しどうどうを見込むというところ、ところがちょっと難しいので、そこにつきましては、どうどうを地盤として考慮した、評価を実施していると。
0:19:56	いうことでございます。以上になります。
0:20:02	はい。規制庁、上出です。
0:20:05	何となく、
0:20:07	わかってきまして29ページっていうのはそもそも、
0:20:14	その実情評価っていうところマスターさっきでいうと最初のダイヤで、
0:20:19	右に流れた物の話をしているページだから、ここでのバックの話をするわけじゃないっていうことですね。まずその認識で合ってます。意図としてはここ
0:20:31	そもそもの額と金よここ建屋ここポツに入ってきてないから、まずそこは関係ないですよっていうことですかね。
0:20:40	日本原燃キョウダでございます。ご認識の通りでございます。
0:20:46	はい。規制庁深見です。わかりました。その上でじゃあのバックのせおんなじそ同じようなところっていうか、
0:20:53	説明、どうどうに関して
0:20:57	その接触率判定とバネの算定で、考えが違うよっていうところを、どこで説明されてますか。
0:21:16	規制庁、吉山奥井です。
0:21:19	日本原燃富樫ですけども等のバックの手法に関しましては26ページが該当になってきます。
0:21:28	こちらの方で野間久野小の場合ですと、こちらの26ページに記載している通りで、ばね自体の評価っていうのが、円形地盤を円形置換してあげて、前面が埋戻。
0:21:39	地盤と接しているというような仮定条件で解くものやっております。ですのでその仮定条件を成立させるために、12ページのダイヤであるような形の方で、地盤の方が三名または75%を設置します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:53	いった場合と、あとは建屋の平面形状の延長比が 1.1 であるといったところが、野間久野手法の前提条件になって参りますので、それでこちらの方のバックの前提条件を満たすものに関しては、
0:22:05	こちらの方の円形時間で全面が一番と接しているという条件で解くってというような形の方での枠の所を適用してるというものでございます。
0:22:16	はい。規制庁小峰です。ありがとうございます。大体わかりました使用手法の違いでのバックに落ちたものはもうそういうふうやっていく。
0:22:27	ということで大体、
0:22:30	中身はよくわかります。
0:22:34	あとですね、もう 1 点。
0:22:40	45 ページ。
0:22:45	45 ページの一番下の下線が引いているまた書きのところってのは、これはどういうことを言いたいのか説明してもらえますか。
0:23:00	イノウエトガシでございます。こちらの先ほど前段で菅ハバサキさんのご指摘もありました前の、前回の審査会合でご説明した部分の、1%を大きく上回ったところでの、た等価線形の適応の話になってございますのでその部分に関しましては、
0:23:18	地盤の方の説明資料に追加しますといったところを記載させたものでござい。
0:23:30	はい、規制庁カミデですわかりました。何かここ 2、
0:23:37	ここに書いてあるのも変な気はしつつっていうのは、先ほどと同じような感じかもしれない。
0:23:43	まずは、
0:23:45	そんなに整理してもっていう感じはしますんで 8K I C 例えば 08 側でどう書いてあるかっていうところ。
0:23:55	また確認したいと。
0:23:57	私の方から 0 五番。
0:24:00	では、以上です。
0:24:10	規制庁の竹田です。
0:24:12	ちょっと私から 1 点これさせてもらいたいんですけど、
0:24:17	特に同じような問いをしていたら、ちょっと同じ答えていただければいいんですけど。
0:24:22	ですね、参考資料のところからなんですけど。
0:24:27	63 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:33	それで、青枠になっている部分なんですけれど。
0:24:37	今回この1%を超える部分は、あんまりよ。
0:24:41	見込まない。
0:24:43	という設定にして、普通の設問モデルと、影響の検討されているわけなんですけれど。
0:24:50	この、
0:24:51	青になっている部分の範囲のバネを見込まないと、保守的に見込まない場合の大戸がどうかということで比較されているわけなんですけれど。
0:25:02	この支配面積分を小さくしてばねを算定することで、ばねの拘束力自体は、
0:25:09	小さくなると思うんですけれど。
0:25:12	金から入力してくる力も小さく見込んでしまうということにはなると思うんですけれど。
0:25:20	その部分の影響までって何か考え。
0:25:23	おられるでしょうか。
0:25:44	質問の趣旨は伝わりましたでしょうか。
0:25:47	日本原燃ウラボヤシでございます。ばねを切ったらその分入力も入ってこないだろうというご趣旨でしょうか。
0:25:56	そういうことです。
0:26:09	日本原燃キョウダでございます。この63ページの図なんですがこの青色の部分を見込まないような、剛性が少し小さいばねにしたといたところで、この後、
0:26:21	統合制に対応するような入力になると。
0:26:25	実際もそのようなインピーダンスになるだろうという仮定のもとを検討しているといったような、
0:26:31	ところでございます。以上。
0:26:46	規制庁の竹田です。
0:26:49	はい。そういう設定しているということは理解はしました。
0:26:58	あ、わかりました。
0:27:01	私から確認以上になります。
0:27:04	あとその他、規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:27:10	規制庁濱崎です。ちょっとこの資料の今後の扱いについて確認したいんですけれども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:18	これ構成から見ると、別紙の2ぐらいからですかね、以降は各だけごとにそれぞれの特性の説明をしていくと。
0:27:29	いうことでもう積み上げていくような、そういう形になるかと思います。
0:27:35	ということは別紙の2、以前は、これは共通で、今回申請でフィックスになると。
0:27:43	いうことで考えられてる、考えればいいんでしょうか。
0:27:48	日本原燃キョウダでございます。おっしゃられます通り、本文と別紙1につきましては、今回申請でフィックスさせたいと思っております。以上でございます。
0:28:01	規制庁ハバサキです。
0:28:04	そうしますと実は今日の七番の資料ですね、とも関係してくるんですけども。
0:28:10	側面回転ばねをつけるつけないの話が今後出てくると思うんです。例えば、今日の資料の6ページの一番上のパラグラフの、
0:28:22	2ポチのところですね、ここも、今回設工認では3行目運用目、側面ばねとして末を設定しているという記載もあります。
0:28:31	今後
0:28:36	六ヶ所としてですね、側面回転ばねはもう、
0:28:40	つけないっていう、多分そういうスタンスってこれ作られてると思うんですけども。
0:28:44	どうも7番の資料見る限りでは、大抵までつけた方がより適切だという結論なってるかというふうに思うんですね。
0:28:53	そうしますと、
0:28:56	あくまでもその本文と言われてるところも、このままの記載でいいのでしょうか。
0:29:04	ちょっとそこら辺の考えって何か、原燃の方で考えられてますか。
0:29:11	はい。日本で当初ございます。ちょっと7番の資料のところちょっと私どもの書きぶりのところがちょっと足りてなくてちょっと誤解を与えてるかもしれないんですけども基本的に7番の資料で回転ばねをつけさせていただいたのは、
0:29:26	あくまで今、A B建屋で観測されている記録との整合性といったところで非常に小さな記録に対してものでございますけどもその際においては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:38	より地盤脳梗塞効果っていったところでの側面回転ばねといったところが見込むことによって、観測記録のシミュレーション的にはよく合うといったところまでが確認できているといったところでございます。
0:29:50	ですからこれを設計に持ち込むかどうかっていうところに関しましてはやはりなかなか難しい部分もあるというふうに当社の方で認識してございますので、あくまでも観測記録の再現といったところでシミュレーション解析ではこちらの方開いゝの観点から
0:30:04	側面、回転ばねを用いるといったところを記載させていただきますけども、今回の当社の施設の耐震評価におきましては、基本的にこちらの方の側面ばねのほうで記載させていただいてございます末までの適用といったところで考えているところでございます。
0:30:19	以上でございます。
0:30:21	立石浜崎です。今の富樫さんのご説明は理解をしたんですが、ご存知のように例えば柏崎なんかでもそうなんですけども、
0:30:31	建屋によって側面までつける場合付けない場合があるっていうのはそれは既往の審査でも、実績としてあるんですけども。
0:30:41	例えば柏崎7号のリアクターに関しては、シミュレーションでも側面回転ばねをつけてる。実際の設計モデルもSRモデルも、回転ばねをつけているっていう。そこはやっぱり合わせる。
0:30:53	のが本来の姿と思ってますで、今のお話ですと入力レベルによって、側面回転ばねをつけるつけないみたいな話、それはちょっとやっぱり、合理性がないというふうに考えます。で、
0:31:06	今ここの、
0:31:09	英語版の資料の中、議論として、
0:31:15	側面回転ばねの扱いを今後どうしていくかっていうことを、今の段階で決める必要があるかどうかっていうのは確かに、
0:31:25	その必要性は、疑問はありますけれどもですね。
0:31:33	今の現段階の原因としての考え方っていうのは、理解はしました。理解といたしますか
0:31:40	拝聴しました。
0:31:42	ちょっと今後、一応カミデです。
0:31:47	はい、規制庁上津口を挟んですね。はい。一応
0:31:51	基本的に次回も見通してちゃんと説明をしてくださいっていうことではあるんですけど、やっぱり、あと等の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:02	見ていくと、ここに立ち戻らなきゃいけないっていうところはあって、しょうがないのかなと思ってまして一応
0:32:09	この資料の4ページでも、一応メインとしては、冷却水とか第1回申請に対してっていう話。
0:32:18	とかも書いてあって
0:32:21	まずは、あんまりやるかどうか決まってないことについて、100%今ここに書く必要はないかなっていうところなので、その辺り必要に応じて、
0:32:33	資料の拡充をしなきゃいけないということをお互い認識合っていればいいんじゃないかと思いますけど、ハバサキさんそれでいかがですか。はい。菊池浜崎です。そうですね。拡充なり或いは
0:32:46	表現を案内にするだとかですね。
0:32:49	だから側面回転ばねを設定する、しておけば済む話ですしですね、そこから辺まだ余地があるかなと思ってますので原燃の方、意図伝わりましたでしょうか。
0:33:04	はい。米沢市長ございます。先ほどキョウダの方でフィックスというような話がありましたけども、やはり荻谷さんからのお話の通りで、多分工事課でも少し審議させていただく中で、ちょっとこの日に立ち戻っていったところはあるというふうに当社の方も認識してございますので、
0:33:21	に関しましては保険当社としましても柔軟に対応していくといったところで考えてございますので、その、
0:33:28	必要に応じてですねこの資料といったところは、適時次回の部分でも少し、前段の方にさかのぼっては、第1回目のところには影響しないと思いますけどもその部分で、次回以降でご議論させていただければというふうに思っております。以上でございます。
0:33:43	はい。規制庁小崎です。今の説明理解しました。私から以上です。
0:33:55	規制庁竹田です。その他、こちらにつきまして規制庁側から確認等ございますでしょうか。
0:34:05	よろしければ日本原燃の方から、資料の修正方針、あれ、発信がございましたら修正の方針と、また不開示情報の発言がなかったかどうかの説明をお願いいたします。
0:34:23	44年キョウダでございます。まず不開示情報に関する発言についてはございませんでした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:29	また本日いただいたコメントにつきましては今回の議論の中で、すべて解消したものと思っております。以上になります。
0:34:41	規制庁竹田です。ありがとうございます。
0:34:45	それでは次の資料の確認に進みたいと思います。
0:34:50	井藤俊哉耐震建物 06 でしょうか。
0:34:55	それではこちらの資料につきましても、ポイントとなる部分を、補足の説明お願いいたします。
0:35:03	日本原燃キョウダでございます。まず修正ポイントにつきましては、前回のヒアリングでいただいたコメントを踏まえまして、記載内容の修正及び追記等を行っております。
0:35:14	それと細かな部分になりますが計算過程における数値の丸め処理についてちょっと適正化を行いましたので、若干数値が変わっている部分がございますが、最後の結論自体には変更はございません。
0:35:25	また社内調整によりまして一部体裁の修正ですとか、記載の修正も行ってございます。以上になります。よろしくをお願いいたします。
0:35:36	規制庁の竹田です。
0:35:38	ありがとうございます。それではこの資料につきまして規制庁側から確認等ございましたらお願い。
0:35:54	規制庁、カミデです。ちょっと結果の見方、ところで、説明をしてもらいたいんですけど。
0:36:04	122 ページ。
0:36:07	千葉のインピーダンスの比較がしてあって、
0:36:17	N S の、
0:36:19	特に回転ですかねこの辺は、
0:36:23	線があんまりしてないように見えるんですけど。
0:36:27	上の方では、ほぼ一致として、特にあんまり説明がないようなところで、この辺ってどういうふうな考察をしているか、もう少し説明をいただけます。
0:36:43	日本原燃キョウダでございます。おっしゃられます通り、高振動数側では少し
0:36:50	若干ですけども、間違っているようなところがございますが、大体建屋の振動周期までの周期体、応答に直接関わっているようなところの周期体につきましては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:03	ほぼ一致するような結果となっており、建屋応答としては影響ないだろうというふうに考えております。以上になります。
0:37:15	はい。規制庁上出です。そういったことも少し
0:37:20	記載を拡充いただいて、
0:37:25	若干違うけどみたいなことしか書いてないので、もう少しターゲットして、どの範囲を見るべきなのか、それはなぜかっていうのが、
0:37:36	わかるような形でですね、説明をして、だから、この結果でも、
0:37:44	問題ないんだっていうところを説明いただきたいと思います。
0:37:49	その上で、今
0:37:52	ある程度周期待みたいな話をされたっけ。されましたけど、具体的に、
0:37:56	どの辺までが一致してるからいいんだって判断され、
0:38:08	あ、すいません、日本現在ウラボヤシでございます。まずこのインピーダンスの結果どう使えるかというところについてまずご説明差し上げたいと思います。
0:38:19	二つ交差するように並進回転それぞれ交差するように、
0:38:25	バツの字型に、曲線いただいてございますが、まず斜め右に降りる方ですね、それはバネを決めるときの、その最大のポイント、0、Y軸に近いところですが、
0:38:39	そこの値を剛性として考慮します、ばねの。
0:38:46	そして左下から右上へ上がって行って、先の方でちょっと売れているように、両方売れてるようになってるんですが、これは
0:38:56	構造物全体の一次固有周期のところのポイントの交点と原点を結ぶ傾きというふうに、これお金の減衰として計算します。
0:39:06	そういった意味でおっきな風向きのポイント。
0:39:11	この建屋の一次固有周期、地盤連成の一次固有周期のところ傾きのポイントが、どれだけ幅広に振れるかという観点で、
0:39:21	数字が変わっていきますよというものですので、そういった観点でご説明できるように充実できればと考えておりますが、
0:39:29	以上です。
0:39:34	はい、規制庁カミデです今おっしゃっていただいたようにそもそもここに何使うんですかっていうところ。
0:39:40	これは含めてですね、もしかしたら全体に規定と書いてるかもしれないですけど、結果のところでもうその辺繋がり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:49	繋がりというかロジックというかですね、わかるように、もう少し拡充をいただければと思います。同様の話は客等側も、
0:40:03	同様の解析をされていると思うのでその考察においては、今のコメントを政変発、
0:40:14	私の方からは以上です。
0:40:20	その他規制庁側から確認はございますでしょうか。
0:40:24	はい。規制庁浜崎です。ちょっと確認だけです。冒頭説明で、スーチャーも若干変わったんですがという。
0:40:32	ことですが具体的にはどの部分っていうのは説明できますか。
0:40:39	以上だけです。よろしいでしょうか。
0:40:42	ハバサキです。ごめんなさい。
0:40:45	マイク水にしてみました冒頭ですねスーチャーが今回若干変わったという説明があったんですが、どの部分が変わったか、説明いただけますか。
0:41:16	日本原燃キョウダでございます。少し解析条件の中の、何と申しますか、条件の数値を少し、の丸めを適正化したといったところで、
0:41:28	所々あるんですが、例えば、101 ページ。
0:41:35	って言いますと、割増係数が、前回 1.041 程度だったんですが、
0:41:41	それが 1.040。
0:41:45	ねらっていたりとか、その程度の違いでございます。
0:41:49	全体的に少し、若干割り増し係数の最後の桁が少し変わっていたりとか。
0:41:56	そういうような、
0:41:57	結果になってございます。以上になります。
0:42:00	規制庁浜崎です。了解しましたと。後ろの方にもですね結果のところ数値にアンダーバーがあって、注記が書いてあるところも、アンダーバーがあるんですが基本的にはそこが変わったというふうに理解しておけばいいんですか。
0:42:19	日本原燃キョウダでございます。基本的にはさようでございます。
0:42:22	また、ちょっと 100 円ページにつきましてはちょっと基礎スラブの評価なんですけどちょっと少しここ、
0:42:29	につきましてはちょっと社内のコメントを反映させた部分もありまして、
0:42:33	前回までは N S 方向の部材に対しては、N S 方向加振の応答比率を掛ける、E W 部材については左方向加振の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:44	応答倍率を掛けるというふうにしてたんですが、少し確認したところ耐震計算書の中のそのNS部材についても、EW加振で決まっていたり、わかり、
0:42:57	いうことも、
0:42:58	ある可能性があるということで、ということがわかりまして、
0:43:03	今回につきましては割増係数を保守的にNS加振とAEW加振で包絡したような割り増し係数を用いまして、少しの保守的な検討にやり直してございます。
0:43:15	以上になります。
0:43:17	はい。規制庁浜崎です。説明理解しました今です。説明いただいたようなこと等も含めて文章の方に、不破書かれてないのかな。
0:43:30	ちょっとそういったところも重要なんです。もし今、書かれてないようでしたら、記載の方してもらってほしいと思うんですが、よろしいでしょうか。
0:43:42	日本原燃キョウダでございます。一応103ページの方の表の米印4のところ、NS方向及びEW方向の包絡値を割増係数として設定するというふうには記載させていただいております。
0:43:58	規制庁の浜崎です。わかりました。基本的にはまずアンダーラインのところの修正で、今回、その修正事項という形で注記のところ、
0:44:07	表に表記になっているということで理解しました。ちょっと今後、数値を確認する上でですね、こういったところが重要になってきますので今確認しました。私からは以上になります。
0:44:27	規制庁上出です。すいませんもう1点確認させてください。
0:44:33	65ページに表ですがあって、
0:44:37	この見方というっていうか、
0:44:41	現地の状況みたいなところを少し、
0:44:45	説明いただきたいんですけど。
0:44:49	65ページの上の全体図でいうと燃料加工建屋がまあ、
0:44:55	尾花
0:44:56	一番大きい。
0:44:57	穴は燃料加工建屋で、エネルギー管理建屋っていうのが全体像っていうかわからないんですけど。
0:45:05	その者下の、建屋周辺図っていうと今度、実線の黒で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:13	囲ってあるところがこれエネルギー管理建屋ってということなんですかね。
0:45:19	日本原燃、キョウダでございます最後までございます。この黒の実線の部分が、基礎版。
0:45:25	が、
0:45:27	ある範囲になります。以上でございます。
0:45:33	はい。規制庁上出です。その北側に二つ点線ありますけどこれって、
0:45:39	あれですか、高圧ガストレーラーとかその辺の話ですか。
0:45:45	日本原燃キョウダでございます。さようでございます。こちらの高圧ガストレーラー庫でしたりとか高圧ガスの貯蔵建屋につきましては少し小さい建屋ということもございましたので、こちらにつきましては、重量のみ、
0:45:58	の考慮ということにさせていただきます。以上でございます。
0:46:06	はい。規制庁カミデです。わかりました。
0:46:11	エネルギー管理建屋は梁モデルみたいのがついてるんで、
0:46:16	建屋の
0:46:19	部分も一応モデル化してるってということなんですよ。
0:46:24	日本原燃キョウダでございますご認識の通りでございます。
0:46:30	はい。規制庁、高見です。これはあれでしたっけ。地下2。
0:46:36	全然発地かは全然掘ってないってということなんですかね。地表面までってことなんですかね。
0:46:44	日本原燃キョウダでございます。64 ページに配置図を示してございますが、
0:46:52	こちらのエネルギー管理建屋 P B ホンザイ 建屋のごく一部に、地下ピットとして、地下 1 階部分がある部分もございますが少し
0:47:03	面積自体が全体に対して小さいといったところで、こちらは考慮しておりません。その他の部分につきましては、力のない構造物となっております。以上になります。
0:47:17	はい。規制庁甲斐ですわかりました。
0:47:20	あと
0:47:23	労働が、
0:47:25	あると思うんですけどそれはまず、
0:47:29	C B 立て後の道道はピンクの MMR。
0:47:35	ところがありますけどそのあたりが多分道道の支える MMR で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:42	流動化処理場に置き換えてモデル化してるっていうふうに見えてますけどそういうことなんですかね。
0:47:51	日本原燃キョウダでございます。さようでございますこのMMRの上の部分本来労働になりますますがそれを今回、地盤で置き換えてございます。以上になります。
0:48:03	はい、規制庁カミデです。エネルギー管理建屋からおそらくピットみたいのが、
0:48:09	あって繋がっていてそれも流動化処理どうですっていうことでいいんですかね。
0:48:16	日本原燃姜でございます。ご認識の通りでございます。
0:48:23	はい。規制庁上出です。隣接立てで評価する時は
0:48:29	中が空洞のコンクリートを模擬するよりも、流動化処理度の方が、
0:48:36	安全側に出るような気はするんですけどその辺の説明ってどっかありましたっけ。
0:48:52	日本原燃キョウダでございます。少々お待ちください。
0:49:00	日本原燃キョウダでございます。
0:49:02	全体の 32 ページになりますが、
0:49:10	上から 3 行目の部分になりまして、
0:49:14	先ほどおっしゃっていただいたちょぼ収支とは違うかもしれませんが堂々は建屋と比較して重量が非常に小さいといったところとまた地中に設けられていることから立山様に地盤とは別に固有の振動が割れにくいといったところで、
0:49:28	今回
0:49:30	モデル化せずに地盤として、考慮していると言ったと。
0:49:34	いうことでございます。以上になります。
0:49:38	はい。規制庁、鏡です。
0:49:42	例の記載でも、駄目っていうわけではないですけど、細かな話ですけど
0:49:49	要は流動化所で置き換えてるっていうことなのでその辺も、
0:49:54	含めて、ここで説明をして、
0:50:00	与える影響はないというよりは置き換えておいて、問題ないっていう。
0:50:06	ことだと思うのでそういう説明にしてもらえたらと。
0:50:10	よろしいですか。
0:50:14	日本原燃キョウダでございます。ご周知、理解いたしました。修正させ追記させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:23	はい。規制庁菅です。すみません私の方から、将来
0:50:36	規制庁の木田です。
0:50:38	ちょっと細かいところなんですけど、かけさせてください。76 ページ。
0:50:48	4.1. 2 の地盤モデルの詳細のですね、今回追記いただいているところでしょうかね。下線になっている部分あるんですけど。
0:51:00	なお書きで、マンメイドロックは検討する想定地震動に対して弾性状態と考えられるとあるんですけど。
0:51:12	これっていうのは、考えてるだけであって実際検討してこう判断しているというわけではないのでしょうか。
0:51:29	日本原燃キョウダでございます。
0:51:31	おっしゃられた通り検討しているというよりも、判断していると。
0:51:37	線形状態としまして問題ないというふうに考えているということでございます。
0:51:47	規制庁の竹田です。やっぱり S D の地震動ですので、
0:51:54	収まるという紀のかもしれないんですけど最低が計量的なが示すことっていうのはできるでしょうか。
0:52:13	やっぱり設計からそれっていうのは出てこないんでしょうが実際に採用してる旅行に対して、まだ医長 l a t e n t か。
0:52:20	ひび割れ応力よりも小さいということを、
0:52:23	説明できた方が説明性としてもいいのかなと思うんですけどいかがでしょうか。
0:52:55	はい。日本原燃富樫でございます。ちょっと通常の建物でもこれ、壁みたいなものでも、基本的に男性のものでございますので、それに比べて当然ものすごくマッシブな。
0:53:09	ものになってくるので、弾性状態であるというのは、
0:53:13	あと、思われますけどもちょっと何か示し方が、竹田さんの言われるような私の方で何か、定量的感のところでは何か示し方があるかどうかは少し考えてみたいと思います。はい。
0:53:27	はい。規制庁の竹田です。はい。
0:53:30	ご検討の方いただければと思います。
0:53:34	私から以上になります。
0:53:37	その他、規制庁側からはここにございますでしょうか。
0:53:47	よろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:49	それでは人間の方から主この資料についての修正の方針と、あとは不開示情報の発言がなかったか、確認をお願いいたします。
0:54:02	40年キョウダでございます。まず不開示情報に関する発言はございませんでした。
0:54:07	いただいたコメントとしましてはインピーダンスの考察について充実させる。
0:54:12	充実するといったところと、労働につきまして、地盤に置き換えたような、記載を追記させていただきます。またMMRの非線形化。
0:54:23	の影響といいますか、弾性状態として、検討してE棟の影響評価といったところについて考えたいと思います。以上でございます。
0:54:36	規制庁の竹田です。ありがとうございます。
0:54:39	規制庁、五味です。すいません1点、小言みたいなところ。
0:54:45	伝え忘れてたんですけど、
0:54:49	マスクングの話はこれまでもしていけば、
0:54:53	少し、大体改善はされてきてると思うんですけど、
0:55:00	この資料の186ページとかはですね。
0:55:06	186ページぐらいならいいんじゃないかと私思ってますんで。
0:55:11	一方で、184とか、
0:55:15	182っていうのはその文章のところ、丸っきりっていう形なので、
0:55:22	できれば186ページなり、
0:55:26	あとは178ページもこれぐらいかなって感じがしますが、そんな形で、なるべく
0:55:37	崩壊で何をやってるかっていうのも、わかるようにですね、工夫いただければと思いますので、よろしく申し上げます。
0:55:49	日本原燃キョウダでございます。所管部署とも対応を協議した上で調整させていただきたいと思います。以上になります。
0:56:09	です。
0:56:10	それでは次の資料の確認に進みたいと思います。
0:56:14	次耐震建物07ですね、こちらの資料につきまして、補足の説明がありましたらお願いいたします。
0:56:24	日本原燃の井上です。こちらの資料に関しましては、前回、ちょっといただいてしまったんですけども9月7日に提示させていただいた資料で踏まえたご指摘、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:35	を反映したものになっております。その時の主な指摘項目としては先ほど白戸リーダーに上がりましたけれども観測記録のシミュレーション解析について、
0:56:46	ご指摘受けましたのでそこについて記載を適正化させていただいたものとなっております。以上になりますよろしく願いいたします。
0:56:57	規制庁の竹田です。ありがとうございます。
0:57:00	それではこの資料につきまして、規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
0:57:12	規制庁濱崎です。すいません。冒頭の橋井ですね、
0:57:19	資料ですと 143 ページからもないですか。
0:57:23	整備建屋ですかねこれ、シミュレーション解析ということで、今回、側面回転ばねを考慮した形で決算を、
0:57:33	やり直していただいているますんで、例えば 3-52 ページ。
0:57:39	とかですね
0:57:41	所管ですけれども、かなり改善されているというのは思います。
0:57:47	これ、今 F M の結果と観測記録の、
0:57:52	比較でいいんですけども、これ。
0:57:55	S R モデルで回転ばねありなしでの比較っていうのはやられてますか。
0:58:04	日本原燃の井上です。S R モデルで、側面回転ばねなしの状態であれば、この資料では脱してないんですけど、ものは、
0:58:17	持っておりますんで、その側面回転ばねを考慮しない、失点系 S R モデル。
0:58:25	は、今ここで 162 ページでお出ししている、3次元 F E M モデル括弧側面回転ばねありの、
0:58:35	冒頭とかなり一致したものとなっているというところは、持っております。
0:58:43	質点系モデルに、側面回転ばねをつけた、解析ということは行っておりません。
0:58:50	以上になります。
0:58:52	はい。規制庁濱崎です。説明ありがとうございます。
0:58:57	最初の土橋さんとの花 C になるんですけども
0:59:03	今、このシミュレーションの解析モデルとしては、回転ばねをつけた形でですね
0:59:10	この程度。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:11	一応、再編成あるというふうに、事業者の方で書かれてるので問題ないかなというふうに思ってます。
0:59:20	ですんでこれに関してはこの結果ですね
0:59:25	私としてはオッケーかなと思いました。
0:59:28	ただ、先ほども話に出た、
0:59:33	このシミュレーション解析 3次元のモデルでの回転ばねを考慮したものと、設計モデルのSRモデルに回転場をつけるつけないの話っていうのは、
0:59:44	そこはやはりリンクすべきだなというのは私の所感です。で、それは今回のですね、整備要綱の所掌とは離れるともいえるんですけども。
0:59:59	ちょっと次回の申請のことも含めてですね、その辺りは検討をしてもらいたいというふうに思ってます。
1:00:10	所管になってしまいましたけど、以上ですが、よろしいでしょうか。
1:00:15	はい日本人としてございます浜崎さんのご指摘の通り多分実情を踏まえると当然中越を踏まえたところでの柏崎さんの検討
1:00:27	海底までを見ることの方が観測記録の整合性がいいとかですねそういったところの知見といったところが、非常に今後充実してきているので、多分実情としては今回、我々がシミュレーション解析で実施させていただいたような形の方で、改善まで効果っていったところが多分あるものというふうに私の方も認識してございます。
1:00:46	冒頭にちょっと私の方が申し上げたのが保守性の観点から見た時に今改善までを見ない方がもう少し生といったところもございましたので、この設計での検討といったところに考えては福士
1:00:59	旧来の手法でございます水平を見るといったところが少し私ども今の頭としては無難なんじゃないかなといったところもございまして先ほどの冒頭の発言の方に繋がってございます。ですので少し
1:01:13	尾崎さんから今日お話のあったところも踏まえまして今後の説明といったところの、やり方に含めましてはこういった回転ばねっていったところの共同を見た時はどうなるのかといったところも少し今後見据えながらご説明の方を第2回以降させていただきたいというふうに思っております。以上でございます。
1:01:32	はい。施設浜崎です。その点で等ですねちょっと保守性というのも、いう話もされてますセンコーもそうだったんですけども
1:01:44	竹井に関しては、当然、当然といいますか回転ばねをつけた方が、付けない方が保守的ということは概ね理解されるんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:58	機器利用等をですね機器配管系に対して必ずしもそうならない可能性もあるということで、回転ばねありなしのケースをやっている先行の、
1:02:09	実績もありますしですね、そういった点を踏まえて、検討してもらいたいっていうのが1点。それから、これ、今後、
1:02:18	工事会社が幾つも建屋は申請上がってくると思うんですけども、建屋ごとにつけた回転ばねをつけたり付けなかったりする場合には理由が必要ですし、
1:02:31	回転ばねをつける場合には埋め込み部分の状況ですね、これ柏崎の方もよくご存知だと思いますけれどもですね、回転ばねをつけられる条件かどうかというのは結構し、
1:02:44	検討を要するところありますんでですね、その点を踏まえてトータルで今後考えていただければと思いますちょっとこれ就園要項のお話とはずれ、
1:02:56	ますけどですね、今後の検討の方をしてもらいたいと思います。
1:03:02	以上です。
1:03:04	4年とトガシございます旅行いたしました。
1:03:09	すいません日本原電ウラボヤシでございます。その点につきまして事前に私どもの考えとしまして、柏崎さんなんかは中越沖のおっきな観測記録を取れて、
1:03:19	そのシミュレーションがよく合うというふうに説明できたんですけども、そういう一方で私どもの記録145ページでございますように、大きくても70g a l程度ですので、
1:03:33	これがすべてに適用できるかっていうところに難しさを感じておりまして、その回転ばねというように、まだ踏み出しかねるという状況でございますそれが実情でございます。
1:03:45	はい。規制庁浜崎です。ウラボヤシさんの話は、わからないでもないんですけども、どのぐらいのレベル、レベルなら天端でつけてもいいのつけな方がいいのっていう話だとかなってしまいますんでですねそこら辺、
1:03:59	あまり入力レベルに応じた使い分けっていうのは得策じゃないかなというふうに考えますそれも含めてですね、今後の申請に、の準備をしてもらえればというふうに思います。以上です。
1:04:12	はい、承知いたしましたありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:16	規制庁カミデです。すみませんちょっと今の話の関連でちょっとよくわからなかったの、確認なんですけど、観測記録っていう意味だと、今回並進。はい。回転場でつけた方がっていう話で。
1:04:33	よくあるねっていうことだったんですけど、次回で、実際ちょっと考えますみたいな話でしたけど、燃料加工建屋については、そういうのっていう点で反映されない反映する必要ないんですけど。
1:04:55	日本原燃の上です A 案、燃料加工建屋につきましては、
1:05:03	今回観測記録がございませんので戸惑うなる結果どうけ、どういうふうな結果になるかというところが誰もわからない状況なんですけれども。
1:05:17	一般的に種付海底まで付けない方が、
1:05:23	建屋の音としては保守的な結果となるということもありますので、燃料加工建屋については側面回転ばねは側面ばね、
1:05:32	側面回転ばねは付けないというところで、整理させていただきます。
1:05:37	以上になります。
1:05:43	はい。規制庁、上出です。
1:05:48	仮に今後の花建屋で、やっぱり、例えば分、
1:05:55	郡司でしたっけ。
1:05:56	建屋でやっぱり
1:06:01	A C Mばねだけのモデルよりも、側面回転ばねつけたモデルの方が、
1:06:06	技術的に正しかろうということでそうなった場合に、
1:06:12	燃料加工建屋本当に手法を適用しなくていいのかっていう疑問が、
1:06:18	まだちょっと残ってしまうんですけど。
1:06:22	その辺か。
1:06:24	何かもう少し整理をして、
1:06:27	説明をいただきたいなど。
1:06:29	いますが、
1:06:32	事業所の方、どんな感じで今考えてますか。
1:06:41	はい U N トガシでございますちょっと本日のところの資料は、基本的には建物一般先ほど濱崎さんからあった通りで一般的には
1:06:52	回転ばねをつけない方が保守的な応答になるっていったところで、3次元の応答強度っていったところが今回聞いた点に関しては大きくなる方向性の開店まで取ったものとしての市民、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:06	解析結果に基づいて評価の方を実施しているといったところが趣旨でございます。次回以降見込みといったところを少し残すといったところであればちょっとP A建屋の場合に関してもちょっと、
1:07:24	試算的なところではねをつけたものっていうのも、ご提出をさせていただいてその保守性なりしっていったところを示した上で、
1:07:36	今後の展開につなげるような形の方で、少し、
1:07:40	残していくような形でちょっと対応したいなというふうに思いました。
1:07:47	はい、規制庁管理です。すみませんハバサキさんに対して質問だったんですけど今みたいな検証を見ておいたほうがいいですかね。いかがですか。
1:07:56	はい、規制庁ハバサキですちょっとこの回転ばねについてはですね
1:08:04	なかなか判断が難しいところがあって潜航ですと柏崎が一番わかりやすいんですけどリアクターに対しては、
1:08:12	順番つけてるんですけども緊対なしになりました5号機のリアクターはつけてないんですね。
1:08:19	その理由が、先ほど来あるように、付けない方が保守的な評価ができるということで、
1:08:27	す。そういう意味で、そういう先行の実績も含めて踏まえて今回、P A建屋については、回転ばねつけませんっていう、
1:08:40	ある程度そういう説明も、拡充も必要だというのが1点。
1:08:45	それと、今富樫さんから話があったような、回転ばねをつけて比較をるところまでですね、それ、そういうことでやはり今の回転ばねなしの方、
1:08:59	保守的な結果になりますっていうのが示されればですね、それは一番いいんですね。
1:09:06	ただそこら辺の扱い、結果を見ないと、微妙なところもあるかと思えますし、
1:09:15	必ずそれをやってくださいとは経営規制側の立場からですねそういう、さっきの柏崎みたいな例がありますんで、言う必要はないと思うんですね、そこの比較をするようにとは、
1:09:29	ただ事業者が自主的にやってし、説明をし、
1:09:34	するというのは全然、拒みません。
1:09:38	ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:40	私澤としては、そういうスタンスになってしまうのが実情です。だと思います。
1:09:48	まず丹治さんはいはい。はい。
1:09:51	ありがとうございます。
1:09:53	まず、富樫さんにお伝えしたいのは基本設計方針でどうか言ってますかということで、それとの対応でまずちゃんと説明式で利用してくださいということで、
1:10:05	そうなると、この辺っていうのは必要に応じて、観測記録等によるっていうので、ちょっと曖昧な考え、記載になっていて必要に応じて、なんなんだっていうところか。
1:10:21	の。
1:10:22	ブレイクをして説明をしてもらってっていうことも考えられますで、基本的にはまずそう、その説明ですね、基本方針としての繋がり、
1:10:32	彼らの繋がりっていうところをちゃんと整理してくださいっていう話です。ご提案あった回析みたいなものもされ、されてそれがあるというより、
1:10:43	基本方針の考え方みたいなところは補強できるんだっていうのであればそういうものも見せてもらいながら確認をしたいというところで、まずきちっと基本設計を新川から、
1:10:59	その妥当性をちゃんと語って欲しいというところがまず注文になります。ご認識いただけましたか。
1:11:09	日本原燃ウラバヤシでございます。はい。おっしゃること承知いたしました。まずですね基本方針がまだ御説明に入っていないかと思いますが、地震応答解析においては準拠基準規格類で
1:11:24	実績のある手法を用いて評価を行うということで、JRの4601台当たり約を参照にしております。
1:11:32	そういった範疇の中では、側面の埋め込みの並進までは認められてるという記載はあるんですけども、回転ばねっていうのは
1:11:44	木曾委員、規制が見送られているということで、それが一つの事実でございます。そういった上でさらなり、事業者が海底までを考慮したいというのであれば、
1:11:55	例えば実際の実記録との整合でやはり、実際としては、その建屋で合うんだという証明というかそういうのをチェックした上で使うという立て付けになっておると理解してございますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:08	そういった形で我々基本設計方針で規格基準類にのっとった手法で解析しさと世界であれば、今P A 建屋燃料加工建屋は、
1:12:19	海底までは水に並進までだけという立場というかそういう状況になろうかと思います。
1:12:27	であれば仮にそういうところで無理やりへの改善までは、さらにそこからつけて、どれだけ保守的ですよってという側溝版での説明はどうなんでしょう
1:12:39	建前もあるんですが、そこまでは不要なのかなと感じておるんですが。
1:12:47	規制庁上出です。原則的に規格基準に則ってっていうのはそうなんですけど、入力地震動の算定のところにおいてはまた書きっていう位置付けなんですけどね。
1:13:00	また、また書きでさらに必要に応じて書いてあるので、
1:13:04	要はその必要があるやなしやっていう古藤の判断なんだと思います。原則企画だから企画だけでいいんです。また書きにしませんって言ったらまた書き書く意味がないので。
1:13:20	今言われたように、企画だからいいんだっていうよりはまた書きの記載も含めてですね、どう考えるかっていうところだと思いますのでそういうふうに整理をいただければ。
1:13:38	矢田委員どうぞ。
1:13:40	浜崎の方からそういう意味でですね今回のこの見立てシミュレーションって非常に重要な位置付けを占め、占めているというふうに考えています。
1:13:51	要は、事実として今まで回転ばねを考慮してなかったものよりも、結果が改善されているというのが出てきているというふうに認識してますので、
1:14:02	その上で基本的には保守料なんですけど、合理性という観点でのモデル化っていうのが求められるわけですから、じゃあやっぱり回転ばねをつけるのが本来の姿というふうになるんですけども。
1:14:17	今後、この整備以外もですね、いろんな建屋の状況もあるかと思いますが、トータルで今後のことを考えてもらう。
1:14:28	ればというふうに私は考えます。思います。以上です。
1:14:38	はい。日本で飛ばしてございます。
1:14:43	神谷さん浜崎さんのご出資は理解いたしました先ほど浦部氏も言ったところでございますけども設計上の考え方としては基本的に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:53	教育基準に基づいたところでご説明していくっていったところで吸えばねっていったところが基本原則なのかなというふうに思ってるところでございます。ただBの観測のシミュレーションのところ正しく今回
1:15:07	海底までのもの等土地前回は開店までなしのものの結果といったところもでございますので、先ほど私PAというような形の方で申し上げたところでございますけども。
1:15:18	Bのこのシミュレーション解析のところ、その回転ばねっていったところの、あるなしのところでの建屋共同の当初考察といったところを書かせていただいて笑建屋の状況で、
1:15:32	改善までを、のあるなしがない中でどういような、応答の傾向になってるのかとといったところを少し書かさせていただき、
1:15:40	のがいいのかなというふうに思っております。
1:15:43	以上です。
1:15:49	規制庁ハバサキです。ちょっと話がずれて申し訳ないんですけども、他の建屋でも地震観測のシミュレーションってやられてると思うんですけども。
1:15:59	それについて、この同様の検討っていうのはされてないですか。
1:16:07	はい日本よろしゅうございますどちらかといいますとこれまでのところでいきますとその観測記録に対しまして今までののつけばねを見込んだものの方が保守的な評価になってるっていったところで設計上の保守性といったところが確認されているとといったところに、今まで、
1:16:25	止めていたってところがございます。今回ハバサキさんからご指摘のあったところで少し乖離が大きいといったところの、その観測記録との合いの合理性っていったところ
1:16:37	回転ばねの方をつけさせていただいたとといったところでございますので、少しその部分に関しては、他の建屋で、数建屋示しを解析しているものがございますのでそれに関しては、今回と同じような形の方で、回転ばねを、
1:16:51	考慮した形の方での影響というものを見ようというふうに思ってるところでございます。
1:16:59	はい。原子力規制庁浜崎です。現状としてはまだ結果を持っておられないということです。トータルとして今後検討の方をしてもらえればと思います。すいませんちょっと2方向の話じゃないですが、私から以上です。
1:17:16	はい。規制庁、カミデです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:19	少し検討いただければと思いますけど。
1:17:23	何か他の建屋みたいなのところとどんだんいろんな話を、大きく広がりそうなんですけど第1回は燃料加工建屋ってということで、
1:17:34	後でいろんな検討することを見据えるとそれが燃料加工建屋設計に入っていないようにっていうのは事業者他社はそういう感じなんだと。
1:17:44	まずので、そういう意味で燃料加工建屋だけをきちっと苦勞するっていうと、先ほど高橋さん言われたようにP A建屋で、もうちょっと検証してみるっていうのもあるかもしれない。
1:17:55	そういうところ。
1:17:56	含めてですね検討いただいてまた改めて説明いただければと思いますので、よろしく願い
1:18:07	日本では出しております一番少し整理がつきやすいところを検討させていただいて、追加させていただきます。
1:18:30	規制庁竹田です。加来店長が確認ございますでしょうか。
1:18:46	何がいいんでしょうか。
1:18:48	よろしければ、人間の方からこのCM修正方針と、副会長等の関係がなかったかどうか確認をお願いいたします。
1:19:00	すいません日本円でございますが某スタッフをちょっと伺っておりますので、しばらくお待ちください。
1:19:12	お待たせしました日本原燃の上です。不開示情報の発言はございます。ありませんでした。今回の引き上げに向けての修正事項。
1:19:22	けれども、ちょっとこの資料とは別。
1:19:27	この中に入れるとかそういうところは置いといて側面回転場での扱い。
1:19:32	について、MOXとOR等、
1:19:36	これは次回の話なんですけども次回の査定についてその整理の方を合理的に行わせていただきたいというふうに考えております。
1:19:46	以上になります。
1:19:52	はい。規制庁の竹田です。ありがとうございます。
1:19:55	それが余計していただきたいとしては以上となります。
1:20:00	全体を通しまして規制庁側から何かございますでしょうか。
1:20:05	規制庁浜崎です。ちょっとすいません非常に些末なことで申し訳ないです。規制庁カミデです。
1:20:13	介護も迫って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:16	いうこともあって、やっぱりいろいろヒアリングの案件が立て込んでるんですけど。
1:20:22	ちょっと来週の予定というかそういうところも、整理したいなと思ってますけど。
1:20:31	少しその話、来週のヒアリング何曜日に何をやるかって今、日本原燃として、
1:20:40	説明できるような準備できてますかね。
1:20:46	峰トガシございません。はい。今神谷さんのおっしゃっているのは、耐震の部分という。
1:20:52	以外でよろしいですかね。
1:20:54	はいそうです耐震に関係する部分っていうことです。
1:21:00	やっぱり日本円トガシでございます。ちょっと資料が手元にないのであれなんすけども頭の中に入っているスケジュール感で、大変恐縮なんですけども。
1:21:12	申し上げさせていただきますと、まず会合資料関係でございますけども昨日画面共有させていただいたものの構成を確認していただいたものの修正といったところに関しまして、
1:21:26	月曜日の日に、資料の方は出させていただきます。
1:21:29	その上で大変恐縮でございますけども翌日の火曜日でございますけども、こちらの方に、会合の資料関係のご説明をまず、
1:21:39	さしていただきたいというふうに思っております。
1:21:41	そちらの方の事故を踏まえまして、水曜日、必要があれば
1:21:49	予備、
1:21:50	2、追加で、ヒアリングの方さしていただく可能性もあるといったところが介護関係の流れだというふうに思っております。
1:21:58	あと、それに付随して、その会合関係でございます、あと、
1:22:04	説明資料の関係でいきますと、同じく25日になりますけども、こちらの方が先週提出させていただいております補足説明資料関係がございましてこちらの方のヒアリングの方を実施させて、
1:22:18	いきたいというふうに思ってます。ですので火曜日に関しましては、会合資料と、あとは、補足説明資料関係のご説明を。
1:22:27	といったところでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:28	あと、木曜日と金曜日でございますけども木曜日と金曜日に関しましては、昨日の共通、説明させていただいておりますけども、その部分の別紙4がございましてこちらの方が、
1:22:40	木曜日と金曜日の日にご説明したいというふうに考えております。
1:22:46	以上が大きな来週ヒアリングの方で当社の方からお願いしているスケジュール関係ということでございます。
1:22:55	はい、規制庁カミデです。あと耐震建物23については、それも24日に提出いただいて25ヒアリングってということです。
1:23:09	はい。二本木の船越です。はい。そのように考えております。
1:23:16	1規制庁カミデです。まず25日、先ほど鳥羽さん先週出したと言われましたけど今週出てきた資料じゃないかとは思いますが。
1:23:30	会合資料と耐震建物23やるだけでも、結構時間があってさらに
1:23:38	資料の確認時間を、
1:23:40	考えると、ここ1すぐについていうほど、すぐに読めるもん。特に耐震建物23はですね。
1:23:48	読めないかなと思って25がかなりつらいんじゃないか、全部終わらないんじゃないかと思っているんで。
1:23:55	どう。
1:23:56	その辺り。
1:23:58	藤丹氏と思われてますかね。
1:24:05	はい。日本で飛ばしてございます。小峰さんのご指摘の通りかなというふうに思っております。県がやはり介護指導のところでもお時間の方、いただくことになるかなというふうに思っております。
1:24:20	ですので25日も被害と補足説明資料関係盛りだくさんになっていますので、
1:24:28	ちょっと、
1:24:34	ちょっと分納内容に関しましてはその優先度をちょっと踏まえまして25日の部分に関しては少し山崩しをさしていただいて2728みたいな形のところに少し、
1:24:48	割り振りをさしていただくようなところでちょっと1度社内で調整させて、
1:24:53	いただきたいというふうに思っております。ですので25日にやはり、当社として実施させていただきたい項目としましては会合資料のものと、その会合に附属いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:04	補足する説明資料関係、こちらの方をまず優先的に実施させていただきまして、あとの補足に関しましてちょっと優先度を踏まえてのみさせていただきますというふうに思います。
1:25:18	はい、規制庁カミデですちょっとスケジュール調整必要だっという認識は多分共有できたので改めて調整をして、
1:25:27	連絡いただければと思います。
1:25:30	25日についてはファイフォーに関係するものと言いましたけど今回合合は冷却塔の話とあと燃料加工建屋の話があって、
1:25:42	低燃料加工たケアは事業者側としてはすっきりすべてっていうことだから、かなりね、
1:25:50	会合に関係する補足説明しよう。
1:25:53	はい。ある。
1:25:55	けど、
1:25:56	その中でも、まず、
1:25:59	ちゃんと話を聞きたいなっていうのは、冷却塔の20数、耐震建物23ですから、
1:26:06	それと会合資料の話は25日に、しっかり鍛えて、
1:26:12	一方で25日会合市場の燃料加工建屋のところも、
1:26:17	詳しいことはこの補足説明資料に書いてますんでっていう形で紹介はいただきたいと思います。
1:26:25	それで紹介いただいたものを、27、28に振り分けて、さらに基本方針、2728は全部、添付の基本方針ですけど。
1:26:38	それも、冷却塔とか燃料加工建屋っていう、
1:26:42	ものに関係する補足説明と、全く関係しない。
1:26:46	補足説明があるので、そういうところも踏まえて
1:26:51	優先順位をつけて、いつ何をするっていうところを少し検討いただければと思いますので、そういった形で、この検討をお願いしてよろしい。
1:27:06	はい。峰土橋でございます。
1:27:08	岡部さんの趣旨を踏まえて、調整したいと思います。ちなみに神谷さんちょっと確認させていただいたかたんですけども、今亀井さんの方発言のあった部分の4行下クォーター提案に関しての、
1:27:22	補足説明資料関係ピーカで必要なものはっていうところがあったと思うんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:31	それは結果形の、今の例えば隣接数は基本的に今日ご説明した内容のところが少しコメントもございましたけどもそちらの方結果等に全く影響しないものというふうに認識をしてるんですけども。
1:27:46	それ以外で、少し、神谷さんの方、整備されているラック関係といったところございますでしょうか。
1:27:55	規制庁カミデです。私として今何か追加が必要だ、今予定されてるもの。
1:28:01	に対して何か足りないって言っているような、
1:28:05	つもりはなかったですけど、何かそういうふうに聞こえちゃいましたから、
1:28:11	今で十分とか足りないっていう判断は、まだ、
1:28:14	特にしてないんですけど、
1:28:17	会合で説明するにあたっては、影響を聞いた。
1:28:24	今日も整理方向の話は今日来てましたけど、建物側に対する、
1:28:31	話で、議論が残っているようなところは、話を聞いておかなきゃいけないだと思っていてその辺は、
1:28:38	認識が合っているからこそ25日の補足説明がたくさん、積まれてるんじゃないかと思ってましたけど、その辺がそもそも認識合っていないですか。
1:28:54	はい日本円トガシでございますそういう意味でいきますと補足に対してのコメント回答といったところが残っているものがございますのでそういった部分をまず基本的に会合しておきたいといったところで25日エントリーしているところがございますので、そういったところではすいません。
1:29:13	認識としては合っているかと思えます。
1:29:16	あと基本方針絡みのところで25日のところで少し基本方針の1.2みたいな取り扱いのところに關しては追加として25に合わせて説明したいといったところが
1:29:30	当社としての要望でございますのでそういったところを踏まえて
1:29:34	提示を考えて20、木曜日と金曜日とあと25日の会議の振り分けといったところは検討させていただきたいというふうに思えます。
1:29:44	はい。規制庁深見です。最初の方、大分認識合ってると思えます。最後の方は1.2だけやればいっていいわけではなくて、冷却塔の方で言うと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:57	波及的影響の本方針みたいな関係がありますしあとは、
1:30:01	そもそもの添付の別紙の4-1。
1:30:06	ていうような基本的に一通り書いてあるようなものとかですね。
1:30:10	そういうものもやっておいて、会合に臨むっていう方がいいんじゃないかと思ってますので、00シリーズも何でもかんでもしろっていうよりは、
1:30:22	そういうものを、関係建屋の設計に関係するところとか波及的影響に関係するものっていうのは、
1:30:32	あとは地震応答解析の基本方針とか関係おそらくする。
1:30:36	そういうところを、議題としてまずは積んでもらって、あとはボリューム感っていうのもあると思いますけど、そういった形で優先順位つけてもらえると。
1:30:50	毎年トガシございます。了解いたしました。
1:31:08	規制庁の竹田です。
1:31:10	衛藤。来週のスケジュールの花Cですのでちょっとこれの例もございますので、
1:31:17	早いうちにちょっと現在の方で、資料、ちょっと資料というかスケジュールを調整していただいて、ご連絡をいただきたいと思いますので、お願いいたします。
1:31:28	その他、
1:31:30	あ、すいません規制庁カミデすいません最後、河本ですけど、もともと等スケジュール。
1:31:38	もらってるのと大分実情が変わってきていてですね。
1:31:43	その辺りいつも会合をやってそのあと最初のヒアリングとかラップアップでちゃんと工程積み上げてくださいねと、お願いしてもかかわらず、相変わらずの状況ですので、
1:31:57	とりあえず会合が近いので、そういった形で調整には応じますけど、きちんとスケジュールは組み立てて、進められるように、検討の方お願いします。
1:32:13	はい。2億円トガシでございます。宮田表紙ではい。
1:32:17	そのような形の方で対応させていただきます。はい。すいません。
1:32:26	規制庁の竹田です。
1:32:28	そこが、日本原燃側からは何かございますでしょうか。
1:32:34	良いね特にございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:37	はい、承知しました。それでは、規制庁浜崎です。ごめんなさい。ちょっと先ほどの7番の資料に戻っちゃって大変申し訳ないんですが、
1:32:49	いいですか。
1:32:51	通しの157ページと162ページ、これ私の資料を見る限りでは、
1:33:01	不開示情報が、
1:33:03	何かそこがあるんですが、
1:33:12	162です。
1:33:18	日本原燃の井上です。浜崎さんおっしゃる通りですね、すみません。
1:33:26	0と100。はい。
1:33:28	158
1:33:30	ページ。
1:33:31	が正しい。
1:33:33	情報といいますか。それで、143ページからの資料をまとめていくと。
1:33:39	本来これ不開示にすべきじゃないかなというところが、されてないところがあります。具体的に言う必要があるのかどうか、なんですけども。
1:33:50	ちょっとそこは確認をしておいてください。
1:33:55	具体の現場で承知いたしました。具体的にいでしょうね。
1:34:00	いや、こちらで行います。大丈夫です。はい。
1:34:04	はい。以上です。
1:34:12	はい。その他、よろしいでしょうか。
1:34:16	よろしければ本日のヒアリングは、以上で終了とさせていただきます。お疲れ様でした。
1:34:24	はい、ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。